

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成28年9月23日(2016.9.23)

【公表番号】特表2016-523342(P2016-523342A)

【公表日】平成28年8月8日(2016.8.8)

【年通号数】公開・登録公報2016-047

【出願番号】特願2016-522477(P2016-522477)

【国際特許分類】

F 0 1 D 11/02 (2006.01)

F 0 2 C 7/28 (2006.01)

【F I】

F 0 1 D 11/02

F 0 2 C 7/28 B

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月15日(2016.1.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

タービン(100)のステータ(143)のためのシールリングセグメント(144)であって、前記シールリングセグメントは、シリンダバレルセグメントの形を有しており、その外面には、複数のガイドベーン(130)を固定するためのノッチ(160)を有しており、前記シールリングセグメント(144)は、前記シールリングセグメント(144)に固定可能なガイドベーン(130)それぞれに関して、それぞれ少なくとも1つの、復元力によって前記ガイドベーン(130)それぞれに作用する押圧ボルト(146)を有しており、前記押圧ボルトは、前記シールリングセグメント内の対応する開口部を通じて固定され、適切に方向付けられると共に、軸方向に圧縮され得る円筒形の要素として構成されており、

前記押圧ボルト(146)それぞれは、皿バネ(158)を含んでおり、前記押圧ボルト(146)それぞれの復元力は、前記シールリングセグメントが内部に配置されているタービンの回転軸に関して径方向において作用する、シールリングセグメント(144)。

【請求項 2】

前記ノッチ(160)が、周方向に延在している、請求項 1 に記載のシールリングセグメント(144)。

【請求項 3】

前記押圧ボルト(146)それぞれが、ネジ接続によって、前記シールリングセグメント(144)に固定されている、請求項 1 又は 2 に記載のシールリングセグメント(144)。

【請求項 4】

前記押圧ボルト(146)それぞれが、周方向において前記ガイドベーン(130)それぞれを形状接続的に固定するように配置されている、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のシールリングセグメント(144)。

【請求項 5】

複数のガイドベーン(130)を有するタービン(100)のためのステータ(153

）であって、複数の前記ガイドベーン（１３０）が、その径方向内側を向いた根元部で、バネ（１６２）を用いて、請求項１から４のいずれか一項に記載のシールリングセグメント（１４４）のノッチ（１６０）内に配置されているステータ（１５３）。

【請求項６】

請求項５に記載のステータ（１５３）を有するタービン（１００）。

【請求項７】

ガスタービンとして設計されている請求項６に記載のタービン（１００）。

【請求項８】

請求項６又は７に記載のタービン（１０）を有する発電所設備。